第11回麻雀最強戦 全予選を振り返る 本戦目前!!!

読者大会

史上初！3千人読者が予選に参加！

●地方予選　1999・7・7～8・8（約3千人参加）
●決勝大会　1999・8・22（120名参加）
●北は札幌から南は沖縄まで、全国43会場で約3千人が参加した今年の読者大会。この人数は最強戦史上初、いや、麻雀タイトル戦史上でも初のことだろう。そして各会場で勝ち残った120名が東京に集結。激戦の結果、決勝大会を制したのは、弱冠18歳の伊東大作君だった。

決勝大会は東京原宿のクレセントホールで行われた。

場！伊東大作！

良彦。第3位穴澤晃一。

第2位永田靖之。

沖縄大会の優勝者は全盲の知花光英(38)だった。

ーター●福地誠
野内康彦＆マクス正木

2000年1月16日に差し迫った本戦。ここで一年間の予選シリーズを振り返り、本戦の予想を立ててみよう。この一年、どんな闘いが行われてきたのか――。

著名人大会

スポーツ界まで激突する豪運！

●1999・9・30（27名参加）
●したたかに芸能界を生き抜くタレントさんから、己の世界を追求する作家さんまで、各界をひとくくりにした著名人大会。競輪界の帝王・中野浩一さんや、博奕にくわしい小説家の安部譲二さんなど、本命馬たちは決勝を前に次々と散る。そんななか栄冠を手にしたのは、麻雀とは別の「勝負」に生きる将棋棋士・先崎学さんだった。

シュワルツェネッガーの吹き替え声優・玄田哲章、本大会へ！

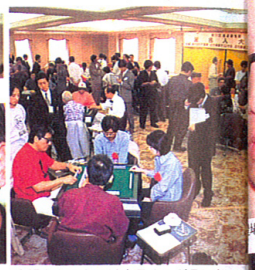
棋士・先崎学。著名人大会を制する。

残念！　あと一息だった茶木則雄。

来年こそは、安部譲二！

きらびやかな女性陣は決勝に一人も残れなかった。

斉木しげる第4位！


会場となったのはホテル・グランドパレ

プロ大会

勝ち残ったのは過去最強のプロ軍団！

●一次予選
1999・10・31（60名参加）
1999・11・3（44名参加）
●二次予選
1999・11・23（56名参加）
●最終予選
1999・12・2（24名参加）
●各プロ団体に所属する「プロ」を対象としたプロ予選。一次から二次、そして最終まで、3段階にわたる。若手たちは最初から出場し、実績あるベテランは後半から登場する。例年になく静かな雰囲気となった最終予選。そこでは白い炎のような闘いが繰り広げられ、怜悧な打ち手ばかり勝ち残ることになった。

若手VSベテランとなった最終予選。

ご存知バビィは二次予選トップ通過。最終予選でも第3位という好成績で本大会へ

常連男・安藤満は19位で敗れ去った。

昨年の覇者、荒正義。最終予選第2位で本大会へ

がんばれイガリン！

飯田正人、最終予選第4位。

原浩明。

加藤勝久。

伊藤優孝。

最高位戦CⅡリーグプロ・長
最終予選トップ通過！

漫画家大会

はまのらま第11期漫画家最強位！

岸上寛準優勝！本大会へ！

●1999・9・11（70名参加）
●麻雀漫画誌業界のマイクロソフトともいわれる竹書房ならでは！漫画家が参加する漫画家大会。ハードボイルドな本格派「根こそぎフランケン」を描く押川雲太朗先生は69位のブービー賞。けれども読者欄担当の永遠の初心者・浜口乃理子先生は第6位。そんな石が流れて木の葉が沈むバトルから、優勝を勝ち取ったのは、はまのらま先生だった。

フランケン押川雲太朗慎死！

浜口乃理子、奮戦するも決勝卓目前で徒死！

有元美保凍死！

片チン悶死！

アカギ福本伸行あと一歩！

第11回麻雀最強戦システム

著名人大会
9月下旬～10月上旬
芸能人、小説家、プロスポーツ選手―各界でもうての雀豪が「最強」の名の元に勢ぞろい!!輝きの一打を放つスターの競演に毎年会場は興奮に揺れる!!

2名

第11回最強戦 本大会
栄光の最強位に輝くのはいったい誰が!?今世紀最高の栄誉が君を待っている!!

勝者大会地区予選
7月上旬～3月中旬
全国約3千人が参加する史上最大の大会!! パソコンソフト「雀賢任」での参加も可能!!

100名

プロ予選
10月下旬～12月上旬
各プロ団体から出場した選手が本大会出場の8つの席を賭け3回の予選にわたって大激突!!アマに勝ってはじめてプロは、「最強位」の称号を勝ち取る事ができるのだ!!

8名

2名

漫画家大会
9月1日
出版界を背負って立つ漫画家の先生方が麻雀で激突!! 思わぬ雀豪やユニークな打ち手がノクノク登場!!ある意味、最強戦で最もエキサイティングな大会かも!?

4名

勝者決勝大会
9月22日
全国の地区予選を勝ち抜いた総勢選ばれし日本一を賭ける!! まさに最強戦の中核となる大会だ!!

アマVSプロ

創設から10年たち、恒例となった最強戦シリーズ。
約3千人が予選に参加した読者大会。麻雀を作品に仕上げるという、もうひとつのプロ集団による漫画家大会。過去数年の本戦では、圧倒的な実績を誇る著名人大会。この3つの大会から勝ち残った8名が本戦に進出する。
迎え撃つのはプロの面々だ。3回にわたる予選を勝ち抜いた、まさにトップといえる8名が、アマチュア軍団とぶつかる。アマがプロを超えられるのか、プロはアマを抑えられるのか――。最強戦がその使命を果たし終わるまで、アマVSプロの闘いは続く。